

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	漁港漁場整備課長 角 敬	電話番号	0852-22-5316
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	漁港整備事業		
目的	(1) 対象	漁港を利用する漁業従事者等	
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・漁船の安全係留を可能とするために、外郭施設（防波堤等）、係留施設（岸壁等）を整備 ・漁業の拠点施設や、漁員の修理・保管場所などを確保するため、漁港施設用地を整備 ・漁獲物の搬出輸送をスムーズにし、流通時間の短縮を図るため、臨港道路を整備 ・老朽化に伴い更新する必要がある漁港施設の長寿命化対策 以上、水産基盤整備事業等の国庫補助事業を活用して、整備・長寿命化対策を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	防災拠点漁港の耐震強化岸壁整備率	目標値		34.4	55.0	60.4	67.6	%
			取組目標値						
	式・定義	整備済箇所数/防災拠点漁港数	実績値	27.1	35.7				
			達成率	-	103.8	-	-	-	%
2	指標名	流通・生産拠点漁港における、耐震・耐津波診断の実施率	目標値		13.9	66.7	88.9	100.0	%
			取組目標値						
	式・定義	診断済施設数/主要な陸揚岸壁及び防波堤の計画数	実績値	13.9	13.9				
			達成率	-	100.0	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,725,808	3,177,842
うち一般財源 (千円)	140,706	216,601

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・岸壁耐震化については、事業中の浦郷漁港では計画どおりの事業費を確保し実施。H28新規着手した浜田漁港については、補正予算も含め計画以上の事業費で整備進捗。浦郷漁港は埋立申請に関する手続き中であり、H29年度工事着手予定。浜田漁港は耐震化工事に着手しており、H29年度に西側の7号岸壁の改良が概ね完了する予定。

・耐震・耐津波診断については、想定津波高の設定がH29年3月となる見込みであったため、H28年度は新たな診断を実施しない計画としており実績もない。H29年度は拠点漁港のうち6漁港で実施予定。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・必要な予算が確保でき整備進捗が図られた。
 ・予定どおりH29年3月に想定津波高が設定され、耐津波診断に着手できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・H29以降、整備進捗に必要な事業費が増えるため、計画どおりの予算確保が難しくなる。
- ・浜田漁港については、浜田市が整備する荷さばき施設との工程調整が必要となっており、荷さばき施設の完成が遅れると岸壁の耐震化工事の完成も遅れる。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・予算確保に関しては、防災対策は国の重要施策となっているものの、この他にも流通拠点漁港の衛生管理対策等の重点施策の全国的な要望額が増えているため。
- ・浜田市が整備する7号荷さばき施設については、今年度発注予定であるが、基本設計段階で生産者、JFしまね、仲買人等、関係者との調整が遅れたため、実施設計にも影響が出ており、工事発注も年度末となる見込み。

③原因を解消するための「課題」

- ・国からは、ハード整備の要望だけでなく業務継続計画（BCP）策定などソフト対策にも取り組まなければ、要望に沿った予算配分は難しいとのコメントがあり、BCP策定に向けた検討を進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・浜田漁港については、施設整備を一体的に進めるため浜田市と連携を密にし、併せてBCP策定のための協議会の設立準備を進める。
- ・耐震・耐津波診断を引き続き実施するとともに、今後、診断結果を踏まえ必要に応じ対策工事の検討を行う。